



National
Institute of
Technology,
Kumamoto
College
Yatsushiro
Campus Alumni
Association

熊本高等専門学校八代キャンパス 楷友会会報

After 5

Vol. 31

2023.11

Official Homepage ▶ <https://after5.y.kumamoto-nct.ac.jp/>

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627〔熊本高専八代キャンパス内〕 Tel 0965-53-1211 Fax 0965-53-1219 E-mail after5@kumamoto-nct.ac.jp

八代高専同窓会、楷友会の皆様へ

熊本高専八代キャンパス同窓会楷友会会長 亀田 英雄



八代高専同窓会、楷友会の皆様、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会の活動について御理解を賜り、御協力を頂いていることに対しまして厚く御礼を申し上げます。

これまでコロナ禍ということで、人と触れ合うことであったり、話をするのであったり、普通の暮らしにあったことが遠ざけられ、自粛されてきましたが、ようやく長いトンネルから抜け出したかのように日常が戻ってきています。

コロナ禍はこれまで私たちが経験したことのない出来事でしたし、多くの犠牲、代償もあった長い道のりでしたが、これまでのうっ憤を晴らすかのように国際スポーツイベントも次々と開催され、日本人選手が活躍する姿に応援も力が入りました。

同窓会活動も中断にも等しい状況がありましたが、先日は八代市を会場として高専ロボコン2023九州沖縄地区大会が開催されました。

八代キャンパスはこれまでもロボコン大会では全国優勝も果たしてきましたし、大きな期待をもって、我が八代チームの応援に出かけました。

結果は僅差の準優勝でしたが、見事に全国大会への出場

権を得ることが出来ました。国技館での活躍が大いに期待されます。

今、熊本県は台湾から世界的企業の進出で注目されており、熊本高専にも注目と期待が寄せられています。是非チャンスと志のある学生諸君にはこの機会に挑戦して頂き、持てる力を存分に発揮して頂きたいと願っています。

そして様々な課題・困難を解決して、将来にわたり人々を幸せにできるように取り組んでいただきたいとエールを送るものですし、高専で学んだスキルと情熱をもってすれば必ず叶うと期待し、信じています。

これまでも、全国各地に諸先輩方が築き上げてこられた努力によって、高専そのものの評価が高まっています。これらに続いてさらに高みを目指してください。

同窓会行事では、2025年の正月、1月2日に恒例の大同窓会を予定しています。多くの方の参加をお願いしたいこともあり、5人以上のミニミニ同窓会については今年から補助を行うようにしています。是非、同窓会事務局にお問い合わせください。

これからもこれまでと変わらぬ同窓会活動に努めていきたいと思っていますので、皆様にはこれまで通りのご支援、強力なお力添えを頂きますようお願い申し上げますとともに、何卒ご自愛いただき、ますますご活躍されますように祈念致します。

近況のご報告

熊本高専校長 高松 洋



いまだに新型コロナウイルスの感染者数の動向が気になる昨今ですが、楷友会の皆様方はいかがお過ごしでしょうか。熊本高専では、4月の入学式を多くの保護者の皆様のご列席のもと熊本県立劇場で行い、さらにオープンキャンパスや高専祭も通常どおり開催するなど、やっと、コロナ禍以前の活動に戻りつつあります。熊本キャンパスでは2学科が海外研修旅行を再開しました。学生の皆さんも、ひとりで受けるオンライン授業や課外活動の自粛などがなくなり、明るく活発になってきたように思います。その中で、高専プログラミングコンテスト課題部門で八代チームが文部科学大臣賞（最優秀賞）を受賞、さらに八代キャンパスのロボコンチームの全国大会出場が決定するなど、大変嬉しいニュースが届いています。

皆様方卒業生のご活躍のおかげで、今、高専の注目度は、その歴史の中で最も大きくなっていると言っても過言では

なく、これからの日本を支える様々な人材の育成を期待されています。特に本校に期待されている半導体人材育成については、既に昨年度後半から半導体工学概論を全学科の学生が受講できるようにしました。高専に対するもうひとつの要請はスタートアップ人材の育成です。そこで、「熊本高専ファーストペンギンズプロジェクト」と銘打った取り組みをスタートしました。皆に起業してもらいたいなどは全く思っておりませんが、新しいことにチャレンジする気概を一人でも多くの学生に持ってほしいと思っています。低学年でのマインドセットを目的とした導入教育を始め、アイデアソンなど様々な機会を学生に提供したいと考えています。また、両キャンパスにコワーキングスペース、ファブラボ、カンファレンスルームをそれぞれ新設します。できればコワーキングスペースには企業の方に気軽に来ていただき、学生と話をさせていただく機会を増やすことができるとも考えているところです。今後とも、後輩のため、皆様のご支援ご協力をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



図書館棟 校舎改修



外観

令和4年7月～令和5年5月にかけて、図書館棟の改修工事が行われました。外壁は茶色・白を基調とした落ち着いたカラーリングになり、またバリアフリー化のため、新たにエレベータおよび入口スロープが設置されています。



エレベータ



入口スロープ

◆◆◆ 図書館 ◆◆◆

閲覧室は、木目と白を基調にした、開放的な雰囲気にもリフォームされました。閲覧室内のオープンな個別学習スペースの他、新たに個室の学習室が設けられるなど、より学習しやすい環境が整えられました。



図書館学習スペース



図書館個別学習室



図書館閲覧室

◆◆◆ STEAM演習室 ◆◆◆

改修前はICT演習室（パソコンルーム）だった一階の2部屋は、BYODの導入に伴い、STEAM演習室に改装されました。学生が

自分のノートPCを持ち込み、自由に机を動かしてグループ学習ができる、フレキシブルな演習室に生まれ変わりました。



STEAM1



STEAM2

生物棟 校舎改修



教室

図書館に続き、生物棟の改修も令和4年9月から令和5年8月にかけて行われました。平成元年に全国の高専で初のバイオ系学科として生物工学科（現在は生物化学システム工学科）が誕生し、卒業生の皆様からすると新しい建物のイメージがあるかもしれませんが、生物棟は竣工後すでに32年が経過しております。

おもに内装の改修でしたが、階段横にエレベーターが設置され、ガスボンベなど重量物を階段で運ぶ苦勞がなくなりました。外装と内装ともに白を基調としておりましたが、改修でどちらの白もずいぶん明るくなりました。教室と廊下の間の壁も窓ができてずいぶん明るく開放感があります。以前の4BC教室と5BC教室は連結され、ふだんは稼働壁で仕切られていますが、各種発表会やオープンキャンパス等のイベントでは壁をたたんで広い部屋として使用予定です。



BCエレベーター

生物系実習室（3階）と化学系実習室（2階）も実習台をはじめ新しくなり、以前より広く使えるようになりました。

2階の西半分にあった2つの研究室プラス廊下の領域を1つの部屋としてまとめコラボエリアとしました。2研究室の普段の研究のほか、学生の自主的な研究や実験にも使用予定です。



生物系実習室



コラボエリア入り口



コラボエリア北側



コラボエリア南側

同窓生だより

Dousousei-Dayori

近況報告

M20 本田 顕真

20期生の皆様、ご無沙汰しております。現在私は東レエンジニアリング株式会社で働いております。入社後、事業部、開発部門、ドイツでの開発業務を経て、現在はDX推進室長として、昔ながらの業務プロセスから脱却し、新しいデジタル技術を取り込んだ業務プロセス改革を進めております。

当時の学生生活を振り返り、改めて高専教育の素晴らしさを感じております。

当時はM科-機械電気工学科でしたが、実際の設計では機械だけできてもダメ、電気だけでもダメ、ソフトだけでもダメで、多面的に対応していく力が必要です。

当時のシラバスは技術者の未来を見据えていたなあ！と驚き、育成してくださった先生方に感謝しています。また低学年のときに体験した旋盤、フライス、溶接等の実経験が機械設計センスにつながり、即戦力として活躍することができました。昨今高専のよさが改めて認められるのも納得ですし、



高専卒業生として誇りに思います。

また休日には、技術士（機械・総監）として他企業の事業改革支援や後継技術者育成の講演を行っております。海外に出て、改めて日本のよさを痛感し、もっと日本を元気にしたい！の一心で微力ながら活動しています。

もし見かけられましたらお声がけいただけると幸いです。

近況報告

E28 上野 聖司

楷友会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。2005年度情報電子工学科を卒業した上野です。月日が経つのは早いもので高専を卒業して18年が経過しました。簡単にではありますが、卒業後の報告をさせていただきます。

私は八代高専を卒業後、愛知県にあるデンソーテクノ株式会社に就職し、自動車のエンジンを操作するエンジンECUとよばれるコンピュータのソフトウェア開発を担当しました。

エンジンのソフトウェアは燃料の噴射や点火などマイクロ秒単位の動作を実現しながら、エンストは人命に関わる。また、排ガスが基準を超過すると法規違反の恐れもあるという面から非常に高度な品質を求められるという特徴があり、開発において高い技術力が求められました。しかしながら高専で学んだ専門知識を活かし、先輩のアドバイスをしっかりと聞きながら仕事をすることで業務としては大きな不安、問題なく対応することができました。同期は学士、修士が多い中、高専卒でもやれるんだという非常に自信となった記憶があります。

業務は複数の車両を担当し並行して開発していたため、残業も多く毎晩遅くまで仕事をしていましたが、半年に一回開催される情報処理技術者試験には定期的に申し込みを行い、試験前が中心ですが週末等の時間を使って自己研鑽を行いました。現在も年に1回の受験頻度になりましたが継続して学習を続けており、これまでに複数の情報処理試験の資格と技術士（情報工学部門）を取得することができました。2020年には日本ディーブローニング協会が認定するE資格も取得し、この資格を活かすために社内での異動を希望、現在はAI・クラウド開発部という2023年に新設された部署に所属しています。



上野聖司（筆者は右端）

40歳を前にして新しい分野への挑戦になりますが、これまで蓄積した専門知識を発揮しながら日々業務に励んでいます。

プライベートでは2013年に結婚しその後2人の子供にも恵まれました。子供の成長に日々驚き、幸せを感じるとともに、この子供たちの未来が平和であるよう祈る毎日です。高専時代の友人とも頻りに連絡をとっており、横浜赤レンガ倉庫で毎年10月に開催されるオクトーバーフェストには毎年その友人たちと参加しています。その中には事故で高次脳機能障害と診断され元の生活に戻れないかもしれない。という状況から事故前の状態まで復活した友人や30分間の心停止から復活した友人がいます。数々の奇跡を目の当たりにし、最近では毎年いつものメンバーで集まれることに感謝を感じています。

最後になりますが、楷友会の皆様のご健康とご活躍、熊本高専のご発展を祈念しまして近況報告とさせていただきます。

これまでと、これからと

E28 小林 大祐

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今はなき情報電子工学科28期生の小林です。

早いもので、私が2006年に本科を卒業してもう17年も経ってしまいました。

情報電子工学科を卒業後、広島県某大学の情報系学科に編入し、学部・修士課程と4年間楽しく遊び学び、リーマンショック後の2010年に世界ふ○ぎ発見のスポンサーで有名なH社に就職しました。

H社では、約9年間システムエンジニアとして主に市区町村向け基幹業務システムや総務省や厚労省・現デジタル庁等、各省庁のシステム開発・導入に携わってきました。市役所の窓口で住民票を発行するシステムや、昨今話題となっているマイナンバーカードの個人番号を管理するシステム、と聞くとなんとなく想像できるかと思えます。

市区町村～国家プロジェクトまで幅広くシステム開発に携わってきましたが、公共のシステム開発は責任が重く、一年の半分は家に帰れないなど大変な時期もありましたが、好きでやりがいのある仕事だったので続けられたのだと思います。2016年に生まれた娘にはしばらく顔を覚えてもらえず、たまに家に帰ると泣かれてしまうのが大ショックで、家庭を顧みないといけないと反省もしている次第です。E科同級生の妻は私の仕事に対して理解があり支えてくれていましたが、皆様も是非家庭を大事にしてください。

そういった反省もふまえ2019年にH社を退職して地元八代に戻り、祖父が1957年に創立した文具・事務機系総合商社の

有限会社小林商店に再就職しました。本誌をご覧の皆様には、龍峰会館で売店をやっていた会社と言った方が馴染み深いかもしれません。残念ながら売店は2023年3月をもって閉店させ



ていただきましたが、この場を借りてご愛顧いただいた皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

売店はなくなりましたが、現在も物品の納入業者としては引き続き高専に出入りしていますので、オフィスで使う事務消耗品や机・イスといった什器類、プロジェクタ等の販売を通して母校や後輩たちをサポートしていきたいと思っています。また、2023年からは商工団体である八代商工会議所のDX推進委員会という組織に参画していますので、SEとして身に着けたノウハウや技術を生かして地域の商工分野の発展に寄与していければと考えています。

それでは最後に宣伝です！八代や八代近辺でお仕事をされている皆様、オフィスの事務消耗品や什器でお悩みの際やご興味がある場合は、ぜひ小林商店までご連絡ください。良い製品を適正な価格でご提案いたします。よろしくお願いします！

☆小林商店への連絡はこちらまで→



私を取り巻く環境

C32 吉崎 大地

この度、熊本高専会報誌への寄稿をさせていただけるとのこと、大変嬉しく思い、感謝申し上げます。

高専を卒業し、早10年以上が経ってしまいました。当時を思い返すと、勝野先生をはじめ、諸先生方にはかなりご面倒をおかけしたように思います。日奈久に入り過ぎて、卒業設計が疎かになったり、建築旅行やコンペを頑張りすぎて、卒業論文が疎かになったり…教え切れません。

現在は、アトリエ事務所を退所し、自身の設計事務所を開きました。毎日、スタッフとともに多忙で楽しすぎる日々を送っております。私の事務所は、他の事務所と違った形で設計に取り組んでいます。模型を作ったり、図面や絵・CGを書くだけではなく、実験を通して、光量や影量の検証をしたり、ピクセルの変化を計測し、その効果をもとにイメージする建築を作り上げていったりします。イメージを湧かせるために必要な儀式のようなものだと思ってください。無駄と思われる事かもしれませんが、イメージは、どこから降ってくるかわからないなと思っておりますので、敷地に TENT を張り、2、3日泊まり込みをして、絵を百枚近く描いてみたり、建築では使われない素材をひたすら切り刻み・付け足したり…と毎日変なことをしておりますが、日々発見があるので、全く苦では有りません。

色々話しは、脱線していきますが、最近では、海外物件も増え、台湾やラトビア、チリなど地球の裏側まで行くこと

ができ、これまで見えてこなかった文化や建築、素材や人に触れる機会がととも増えました。そこで体験することの一つ一つが新鮮で、イメージを膨らませる糧となっています。これも、私の設計した建築や設計スタイルを気に入ってくれたクライアントのお陰だと思って感謝もしつづかせません。

またまた、話は、脱線し、最初に戻りますが、このような好奇心の塊を作ってくれたのは、大学ではなく、高専という特殊な環境にいたことが一番影響しているような気がします。

当時は、あまり興味のなかった、応用物理や応用数学、構造力学など、今では、私自身のイメージの中枢に近い場所にいるような気がしています。

最後まで、話が脱線すぎましたが、これで最後にしようと思います。

勝野先生。また、研究室に顔だします。なので、建築の話をつぶりましょう。



模型写真：現在計画中プロジェクト



現場写真：現在進行中プロジェクト

同窓会支部より

楷友会関西支部 活動報告

18C 本田 英樹

コロナも5類に移行し、海外からの観光客も多く目にするようになり、大阪の街も賑わいが戻ってきたと感じる今日この頃です。

楷友会関西支部も4年ぶりに活動を再開し、去る7月20日に、幹事団計7名にて今後の活動について打合せ(という名の飲み会)を行いました。

(うちリモート参加2名、便利な世の中になりましたね~)

酔っぱらわない内の議論の結果、2024年2月23日に関西支部総会(同窓会)大阪で開催することしました。詳細については、再度打合せ(という名の飲み会)を行いますので、もう少々お待ちください。

これまでの同窓会参加者は各回20名前後であり、皆様への周知の難しさを痛感しています。

もっとご参加いただきたいとの思いも込め、永野会長より関西楷友会登録者各位へメール等を送付しておりますので、生存確認の意味も込めて(?)ぜひご返信ください。

関西在住の方は是非会員登録をお願いします。「関西楷友会」で検索か<https://wkaiyoukai.jimdofree.com/>をアクセスしてみてください。

皆様にお会いできる日を心待ちにしております。

2023年9月14日

文責：関西楷友会・広報 本田

学科近況

LY学科近況について

リベラル系長 時松 雅史

現在リベラル系(旧LY科)の教員の人数は、今年3月に遠山隆淑先生が熊本キャンパスへ異動となったため20人になりました。また昨年度から小林幸人先生が高専機構本部に、今年度から岩尾航希先生がタイ高専に外向しているため、18人で業務を遂行している状況です。私がリベラル系長に就任する5年前は25人(うち1人は佐世保高専からの外向)いたので、この5年間で5人も減っています。加えて、私も含めて50歳以上の教員が半数以上を占めるなど高齢化が心配の種であります。教科関係では、新カリキュラムが5年前にスタートして、「クリエイティブアーツ(芸術)」、「リベラルアーツ入門」、「リベラルアーツ実践I、II」を新しく開講しました。特にリベラルアーツ関係では、池田翼先生と川尾勇達先生が中心となって実施され、少しずつ成果をおさめつつあり、他高専からも注目されているようです。また、ここ数年は教員数が減少している関係で、クラス単位ではなく、学年単位、つまり大人数で授業を開講する科目も増えています。大学では大教室で大人数の学生が受講するのは普通ですが、高専のリベラル系科目もそれと同じ状況になりつつあります。先日、「倫理」を担当している非常勤の先生から、「高専の学生は大学生よりも熱心に話を聴いてくれる!」と言われました。私はこの言葉を聞いて、今後も一コマ一コマの授業を大切にしていこうと思った次第です。(写真は「リベラルアーツ実践I」の風景です)



令和4年度 本科卒業生・専攻科修了生 進路先一覧

本科卒業生就職先一覧

【機械知能システム工学科】

SSN ファシリティーズ
アルテクス
イシダ
サンケンフォーキャスト
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
トーテックアメニティ
パナソニック株式会社くらしアプライアンス社
リクルートR&Dスタッフイング
ローム・アポロ
旭化成
安川電機
応用電機
丸善石油化学千葉工場
京セラコミュニケーションシステム(2名)
西日本高速道路エンジニアリング九州

【建築社会デザイン工学科】

JR九州コンサルタンツ
NTT ファシリティーズ
あおみ建設
エヌ・ティ・ティ・インフラネット
エバーフィールド
極東興和
熊本県
鹿島クレス
住友不動産 (2名)
松崎建設
水野建設コンサルタント
西川計測
西日本高速道路ファシリティーズ
太平洋コンサルタント

池田建設
長崎材木店
東海旅客鉄道
東急建設
銭高組
独立行政法人水資源機構
八代市

【生物化学システム工学科】

ENEOS
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing
KM バイオロジクス (2名)
キリンビバレッジ
クボタ
ジェイカムアグリ
システム・インスツルメンツ
シミックCMO
フジボウ愛媛
旭化成
国立印刷局
三井化学
資生堂 (2名)
小川香料
大阪シーリング印刷
藤本化学製品
日本触媒
不二製油

本科卒業生進学先一覧

【機械知能システム工学科】

HAL 東京
九州大学
豊橋技術科学大学

北見工業大学
熊本高専専攻科 (17名)

【建築社会デザイン工学科】

長岡技術科学大学
東京工科大学
東京都市大学
日本大学
豊橋技術科学大学
熊本大学 (2名)
鹿児島大学 (2名)
熊本高専専攻科 (9名)

【生物化学システム工学科】

愛知教育大学
京都工芸繊維大学
九州工業大学
香川大学
新潟医療福祉大学
広島大学 (2名)
長岡技術科学大学 (4名)
豊橋技術科学大学 (6名)
熊本高専専攻科 (2名)

専攻科修了生就職先一覧

Japan Advanced Semiconductor Manufacturing
KM バイオロジクス (2名)
アーク・リソース
アクセンチュア
アスクル
エヌ・ティ・ティ・インフラネット(2名)
ショーボンド建設
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
メタウォーター

ヤマックス
ヤマハ熊本プロダクツ (2名)
銀杏開発
九州産業交通ホールディングス
向洋電機
出光興産
神鋼テクノ
竹中工務店
中外製薬工業
東京エレクトロン (2名)
日本マイクロバイオファーマ
富士通ネットワークソリューションズ
富士電機
熊本大学
熊本県

専攻科修了生進学先一覧

京都大学大学院
九州大学大学院
熊本大学大学院
筑波大学大学院

< 令和4年度教員人事異動 >

発令年月日	内容	氏名	異動前の職名	異動後の役職
令和5年3月31日	辞職	浦野登志雄	生産システム工学系ACグループ教授	久留米工業大学教授
令和5年4月1日	配置換	岩尾 航希	リベラルアーツ系理数グループ准教授	機構本部事務局准教授
同上	配置換	富久 亜以	生産システム工学系ACグループ助教	都城工業高等専門学校助教

◆卒期・卒業年対応表

卒業年	S54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5		
卒 M,E,C	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	M1, AC, BC	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
期 B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※新学科 (M1,AC,BC) の卒期を旧学科 (M,C,B) の卒期 (通し) に換算する場合は、新学科卒期に36 (M1,AC) または21 (BC) を足す。

教職員だより

Kyosyokuin-Dayori

32年間を振り返って

建築社会デザイン工学科 元教員 浦野登志雄

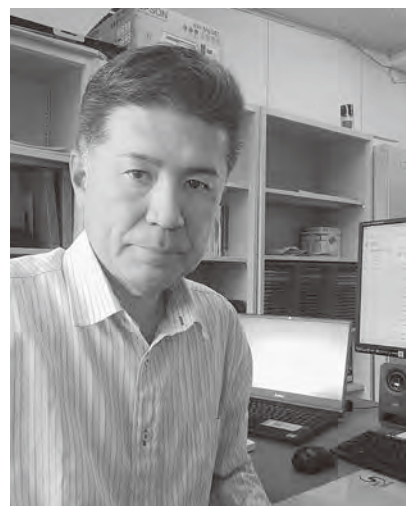
平成3年4月に八代高専に赴任して以来、32年間勤めてきましたが、本年3月末に退職いたしました。まだ、7年間勤務できたのですが新しい環境にチャレンジできる機会がありましたので退職を決意した次第です。

私が八代高専に着任した平成3年は、既存の3学科（機械電気工学科（M科）、情報電子工学科（E科）、土木建築工学科（C科））に加えて生物工学科（B科）が新しく設置されて間もない頃であった。現在は在学生の約3分の1が女子学生であるが、赴任当時は4学科合わせても20名弱という状況であったが、徐々に増加して行き、数年後には女子寮（夕葉寮）が建設された。また、当初は高専祭（学園祭）と体育祭が隔年で交互に開催されていたが、その後、学生会総会で高専祭の毎年開催と体育祭の廃止が決定され、体育祭は体育的イベントとして高専祭最終日に球技種目とリレーのみが開催されることになった。体育祭では、騎馬戦・棒倒しなどの種目で、エキサイトのため毎回人が複数発生することが懸念されており、廃止されたことに安堵したことを記憶している。

在職32年間を振り返り思い出話をしたい。初期の学生は、やんちゃな学生が多く、学内外で喫煙、授業をさぼってパチンコ店に行くなど、問題となる行為が時折見かけられた。私が学生委員の時、八代市本町アーケード内にあったパチンコ店に開店前から多くの高専生と思われる若者が並んでいるとの情報提供があった。学生課から学生主事に連絡があり、私ともう一人の先生と2名で現場へ直行、確認し注意しようとしたところ、蜘蛛の子を散らすように逃走し、アーケード内を走って追いかけたことを覚えている。また、研究論文の作成で夜10時頃まで残業して、自家用車で帰宅しようと保健室横から裏門へ向かって左折しようとしたところ、学生寮南棟と第2体育館の間から1台の原付バイクを見かけた。「抜け出しだ!」と判断し、ヘッドライトを消灯して第1体育館方向へ直行・左折し、前方から接近するバイクにハイビーム、バイクは二人乗りで運転者は横をすり抜けて逃走したが、同乗者はグラウンドへ逃げ込んだため追跡し確保した。被疑者は5Cの学生であった。まるで「警察24時」である。当時は私も30歳前後と若く、まだ独身で学校近くの教職員宿舎（数年前に廃止）に居住していたため、夜間コンビニへの買い物帰りに学生寮のビニールハウス側からジョイフルへ向かう裏道を通ると、学生と鉢合わせ、そのまま確保ということが数回あった。寮生の間には、ガンメタリックのスカイラインを見かけたら注意せよという連絡が広まったらしい。これもまた良い思い出であった。

クラブ顧問では、ラグビー部3年、ソフトテニス部7年、野球部22年それぞれ務めた。クラブ顧問としての一番の思い出は、野球部で10年前に九州地区高専大会で優勝し、全国大会に出場したことである。私は4年生以上のチーム監督に就いていたが、野球部は練習試合が多く、電波高専以外は県外であるため、移動手段としてマイクロバスを運転した。バス

の運転には大型免許が必要であるが、37歳の時に八代ドライビングスクールに通学し、普通免許取得の学生に交じって実地訓練を受けたことを思い出す。免許取得後は、徳山高専まで運転したことがある。当時徳山高専の野球部監督は、現在都城高専校長である田村先生であり、田村先生は私と同じ土木建築工学科の教員で、同じ学科の顧問と私費で中古のマイクロバスを購入して八代高専まで練習試合に来るほど熱心な先生であった。この頃の学生は、



現在と違い日頃の練習を熱心に行っており、顧問のやりがいを感じる時代であった。これらの成果もあり、秋田こまちスタジアムをメイン会場とした全国大会に出場することができた。

在職13年目の平成16年には、全国の高専が独立行政法人化され、国立高等専門学校機構八代工業高等専門学校となり、その5年後の平成21年10月には高度化再編により、熊本電波高専と統合され熊本高等専門学校が誕生した。独立行政法人高等専門学校機構は、教職員数6,000人超の巨大組織となったが、6年前に熊本高専は複合学科が消滅し、教員削減の対象になったため、退職後の教員補充が全くない状況が5年以上続いている。これに伴い昇任人事も滞っており、教員のモチベーションの低下が懸念される。特に建築社会デザイン工学科（旧土木建築工学科）は、建築学科として必要な特定分野の教員が欠員の状態が続いている。授業は非常勤講師で賄っているが、学生は当該分野の卒業研究が希望できないことになり、学生に不利益を与えている現状が続いている。新任教員は採用せず、一方で事務職員は新規採用を継続しており、この状況に私は理解ができない。人件費を減らす一方で、他の予算を増額し、現場の仕事が増えることで学生と向き合う時間が少なくなるという状況は改善してほしいものである。

私は本年4月から福岡県内の私立大学に勤務しているが、授業は高専勤務時よりもかなり手間がかかり大変であるが、校務や事務的な仕事量は圧倒的に少ない。新しい環境で仕事をする中で高専の良い点・悪い点が見えてきた。多大なエネルギーを消費して頑張っている割には効果が疑問（意味がないのでは）という仕事も見受けられる。

高専の学生は、日頃の勉強は怠りがちだが、やればできる学生が多いので教員は研究のみならず教育もしっかり行ってほしいと思う。

令和の学生さんの様子

リベラルアーツ系人文グループ准教授（熊本キャンパス） 遠山 隆淑

共通教育科（社会科）の遠山隆淑と申します。このたび、13年間お世話になった八代キャンパスから熊本キャンパスへの異動に伴い、楷友会に所属することになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

このような事情ですので、私はまだ熊本高専の教員です。八代キャンパスでも、4つの授業を担当していて、毎週通っています。ですので、思い出を書き進められるような心境にはどうもなりません。そのため、今回は学生さんたちの近況報告のような話をいたします。

2016年以降の7年のうち5年間、私は1～2年生の担任をしてきました。はじめての担任時には、はじまってすぐ熊本地震がありました。まだクラスの学生たちの名前もはっきりと覚えてない時期に、メールでの安否確認を行いました。まだ中学校を出て間もない頃でしたが、「先生も大変な時期にご連絡ありがとうございます」といった若者たちの心づかいに感心したことを覚えています。2020年には、新型コロナのために、終業式もなく全面遠隔授業に入りました。1MIから2MIへ持ち上がりでしたが、慣れない環境の中、クラスメイト同士も会えない状況の中でも、委員長と副委員長を中心に連絡を取り合い、クラスがよくまとまりました。これを受けて、学生にほとんどのクラス運営を任せでも大丈夫だと考えるようにな

りました。学習面ではもっと身を入れて欲しいという場面が増えましたが、八代キャンパスの学生さんたちは、このように今も実直で誠実な人たちばかりです。このことは今後もずっと続いていくのではないのでしょうか。



令和4年度 新クラス幹事紹介



MI科 幹事 第9期 島崎 健太

同窓会の皆様初めまして。この度機械知能システム工学科第9期クラス幹事となりました島崎健太です。私はこの春筑後市にあるロームアポロ株式会社に入社いたしました。新たな環境になり、5年間様々な困難に立ち向かい切磋琢磨してきたクラスメイトの大切さを実感しております。かけがえのない友との出会い、このクラス、クラスメイトだからこそ思い出は数え切れません。今後もなお親睦を深め、この大切な絆を一層深めて参りたいと思います。クラス幹事として皆様の期待に応えられるように一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



AC科 幹事 第9期 中元 偉央利

この度、建築社会デザイン工学科第9期クラス幹事を務めることになりました中元偉央利です。高専を卒業しこの春から新たな生活が始まりましたが同級生の皆さんいかがお過ごしでしょうか。

私は卒業後、東京工科大学 メディア学部へ編入しこれまでとは全く関係のない、様々なメディアコンテンツを創造する力を学んでいます。今まで延々と踏みとどまっていた幼い頃からの夢に一步近づいた感覚を味わっているのと同時に「みんなは高専に入学したての時にこの気持ちを感じていたのかなあ」などと思いを馳せています。

新たな生活や環境は快適で、ありがたいことに人脈にも恵まれ楽しく過ごせているのですが正直皆さん以上の素敵な人と出会える気がしません。高専で皆さんと邂逅し、共に長い時間を過ごし、数え切れないほどの思い出をつくれたことは私にとって掛け替えのない宝物です。ありがとうございました。

皆さんの幸せを願いつつ、大切な縁が切れぬよう同窓会への貢献に精進して参ります。よろしくお願い致します。



BC科 幹事 第9期 宮本 彩香

同窓会の皆様はじめまして。この度、生物化学システム工学科第9期クラス幹事となりました。宮本彩香と申します。卒業後、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は本科卒業後、専攻科に進学致しました。専攻科では、授業を通して各分野の知識を共有しあい、学業と課外活動を両立して楽しい日々を過ごしています。

本科を卒業し、進学、就職等でバラバラになった今でも、それぞれがSNS等でコミュニケーションをとっているようですが、直接会話を交わす機会が少なくなり寂しさを感じます。5年間を共に過ごしたクラスの絆が今でも絶えず残っており、仲間の大切さを改めて実感しています。これからも、親睦を図り、この絆を一層深めてまいりたいと思います。クラス幹事として、皆様の期待に応えられるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

令和4年度 新役員紹介



E21 中村 佑介

同窓会の皆様こんにちは。E21 中村佑介と申します。平成11年（1999年）に本科を卒業し、福岡、東京、神奈川、愛知と転々としておりましたが、このたびご縁があり熊本高専八代キャンパスにて技術職員として働くことになりましたので、この場を借りてご挨拶させていただきます。

卒業以来四半世紀ぶりに戻ってきた八代は、学内外ともに当時の記憶通りのところもありながら、変わっているところも多々あり、懐かしくも不思議な気持ちを感じています。

学校については校名もさることながら、校舎の内部もいろいろと変わっており、何と校舎にはエレベータ、教室には冷房がついています。聞けば寮にも冷房が完備されているようで、当時を思うとびっくりです。

暑いだの寒いだの文句を言いながら寮と学校を往復した、朝のラジオ体操に始まり消灯の放送で終わる日々のことを思い出し胸が熱くなります。

学生たちの活気のある様子は当時から変わることなく、高専大会、ロボコン、プロコン、高専祭などのイベントのたび自分が学生のときはどうだったかな、などと昔のことを思い出しています。

また学校の周りもだいふ様変わりしています。客殿が先日閉店したと聞いたときはショックで涙を禁じえませんでした。フリータイム投げ放題のボウリング場も今はなく、どこにあったのかすらもう思いだせません。エンペラーは現在進行形で更地になりつつあります。

ジョイフルだけは昔と変わらずそこにあります。今もテスト期間中の学生の支えになっているのでしょうか。知らんけど。

さて、来年度は5年に1度の大同窓会の年となります。既報のとおりミニミニ同窓会企画もありますのでこれを機に同窓生との親睦を深めていただければと思います。また帰省の際にはぜひこちらにもお越しくださいませ幸いです。

八代の今昔について語り合いましょう。お待ちしております！

Gakuseikai

学生会だより

Dayori



熊本高専八代キャンパス
学生会会長

4年 古庄 寿行

同窓会の皆様、はじめまして。挨拶が遅くなってしまいましたが、今年度の学生会会長を務めさせていただく4年機械知能システム工学科の古庄寿行と申します。もう任期は残り半分しかありませんが、学生のために最後まで全力で尽させていただきます。

私が学生会に入ったのは2年生の時でした。当時の自分は球技大会用の石灰を買うのがやっとなペーパーで、局長や会長として君臨する先輩方がとてもかっこよく、憧れでした。そんな、

太平洋のように広い先輩方の背中を追いかけていたらもう4年生。前を走っていた先輩方はいなくなり、自分は今、学生会会長として後輩たちの前を走っています。残念ながら先輩方のような余裕は微塵もありませんが（汗）。人の上に立つことはとても難しい事だなだと痛感しています。それでも、自分を生か

して自分なりの先輩像を後輩に見せることができたらいいなと思っています。今年はたくさんの新しい事に挑戦しており、学生会役員一同で悩み考え協力して未開の地を開拓してまいります。時に立ち止まってしまうことも、道に迷うこともありますが、仲間同士鼓舞し合いゴールまで走り切るののでどうか暖かい目で見守っていただけると幸いです。

さて、今年の高専祭のテーマは「解放祭」ということで、新型コロナウイルスの脅威が落ち着きを見せてきたこのご時世で、マスクやソーシャルディスタンスからの解放、学生の溜まったストレスの解放を目指して学生会で準備を進めています。今回の高専祭は、打ち上げ花火や外部来場者の参加企画など例年以上の規模となっており、地域の方々や周辺の小中学生達に「高専の良さ」というものを知っていただけることを願っております。

最後になりますが、これからも我々学生会一同は学生のより良い学校生活を築き上げるために精進していくので、どうぞよろしくお祈りします。長くなりましたが、ご挨拶とさせていただきます。

令和5（2023）年度同窓会及び学校行事

5月27日～6月7日	高校総体熊本県大会
7月1～17日	九州沖縄地区高専体育大会
8月5日	くま川まつり
8月19日～9月1日	全国高専体育大会
10月14～15日	全国プログラミングコンテスト（福井）
10月15日	ロボコン九州沖縄地区大会 （八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館））

10月29～30日	高専祭
11月11～14日	ラグビー九州沖縄地区高専体育大会
11月26日	ロボコン全国大会（国技館）
11月11～12日	全国高等専門学校デザインコンペティション（舞鶴）
令和6年（2024）	
1月27～28日	全国高専英語プレコン（北九州）
3月23日	卒業式 修了式

2023年度 大会成績一覧表

九州・西日本地区大会

【第60回九州沖縄地区高等専門学校体育大会】

■ハンドボール 女子交流戦	1位
■陸上 男子400m	2位 水田 悠人
■バドミントン 男子シングルス 女子団体 女子シングルス 女子ダブルス	3位 坊村 希龍 2位 3位 坂口 奈々 優勝 小森田夏実 坂口 奈々 3位 西村 羽誕 永井 天那
■水泳 男子100m自由形	3位 渡並 俊介

男子800m自由形

2位 渡並 俊介

■卓球

男子団体	2位
女子団体	2位
女子ダブルス	2位 光永 愛実 勇 滯里
女子シングルス	3位 光永 愛実 3位 勇 滯里

■柔道

団体	3位
66kg	2位 迫 大佑
73kg	2位 伊佐 魁馬

■テニス

女子団体	3位
------	----

【第14回 Japan Steel Bridge Competition 2023】

■構造部門	2位	5名
■総合	3位	

全国大会

【第2回POLUS木造住宅インターハイ】

佳作	榎田 藍
	坂口 奈々
	澤村 心呂
	渡辺 美羽

【コンクリート工学年次大会2023（九州）】

■ポスターデザイン	優秀賞 竹田 真麻 竹隈 光紀
-----------	--------------------

(1) 同窓会記念行事積立金	合計	7,922,731 円
◎積立金1（定期預金口座）		4,523,220 円
内訳：4,523,142（前年度）+ 78（定期利息）= 4,523,220		

◎積立金2（普通預金口座）	3,399,511 円
内訳：3,399,511（前年度）+ 0（R4年度積立金なし）= 3,399,511	

(2) 事務局収支決算

◆収入の部

項目	予算額(円)	収入額(円)	備考
前年度繰越金	258,702	258,702	令和3年度（2021年度）より
入会金	1,290,000	1,280,000	入会金：10,000円 令和4年度入学128名（休学1名）、編入学1名
年会費	1,400,000	1,494,600	口座自動引落（1,800円×267名）、コンビニ郵便振込（2,000円×379名+4,000円×1名）、PayPal（2,000円×6名）、令和4年度卒業生（2,000円×120名）
寄附金	0	50,000	
預金利息	20	29	普通預金利息
積立金戻入れ	0	0	
その他	0	0	
計	2,948,722	3,083,331	

◆支出の部

項目	予算額(円)	支出額(円)	備考
事務手当	250,000	250,000	
事務費	350,000	330,776	Facebook管理、サーバ運営費、振込手数料等
通信費	400,000	380,768	会報誌送付、切手代等
会議費	200,000	7,000	コロナ禍で中止またはリモート開催
会報誌印刷費	700,000	625,944	PDF配布により経費削減
くま川祭り諸経費	0	0	コロナ禍で中止
母校後援費	300,000	299,884	熊本高専八代C図書館へ書籍120冊寄贈
大同窓会等運営関連経費	0	0	次回開催は2024年度（2025年1月予定）
同窓会PR活動費	70,000	72,531	卒業生紅白求肥贈呈、オープンキャンパスポスター副賞
会員名簿発行費	351,000	324,000	R3年度卒業生108名に進呈
支部活動後援費	100,000	0	コロナ禍で支部活動縮小
積立金	0	0	
予備費	227,722	0	
次年度繰越金	-	792,428	令和5年度（2023年度）へ
計	2,948,722	3,083,331	

令和4年度会計報告

◆収入の部

項目	今年度予算額(円)	前年度予算額(円)	増減	備考
前年度繰越金	792,428	258,702	533,726	2022年度（令和4年度）より
入会金	1,270,000	1,290,000	-20,000	2023年度入学生（新1年生127名）
年会費	1,400,000	1,400,000	0	
募金受入	0	0	0	
預金利息	20	20	0	
雑収入	0	0	0	
積立金戻入れ	0	0	0	
計	3,462,448	2,948,722	513,726	

◆支出の部

項目	今年度予算額(円)	前年度予算額(円)	増減	備考
事務手当	250,000	250,000	0	
事務費	370,000	350,000	20,000	Facebook管理、サーバ運営等振込手数料等の値上げ
通信費	420,000	400,000	20,000	会員数増のため
会議費	200,000	200,000	0	コラボ九州（九州地区高専同窓会）参加
会報誌印刷費	720,000	700,000	20,000	印刷費値上げ
くま川祭り諸経費	0	0	0	
母校後援費	500,000	300,000	200,000	部活支援、学生支援、学校支援等
大同窓会等運営関連経費	200,000	0	200,000	大同窓会に向けた取り組み（ミニミニ同窓会支援）、大同窓会は2024年度（2025年1月）開催予定
同窓会PR活動費	100,000	70,000	30,000	卒業生への紅白求肥贈呈、学生コンベ副賞
会員名簿発行費	351,000	351,000	0	2022年度（R4年度）卒業生へ進呈（117名）
支部活動後援費	100,000	100,000	0	関東楳友会、関西楳友会
積立金	0	0	0	
予備費	251,448	227,722	23,726	
計	3,462,448	2,948,722	513,726	

令和5年度予算案

事務局からのお知らせ

ご寄付のお願い

会員の皆様におかれましては、平素より同窓会活動に多大なるご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。さて、これまで卒業生の皆様には平成20年より用途を授業料の支払いに限定した「学生支援基金」のご寄付をお願いしてまいりましたが、昨今の状況を踏まえ、授業料の支払い以外にも支援の対象を広げた更なる学生支援や同窓会活動の拡充のためのご寄付をお願い致します。令和4年度以降は、C7期の山本茂継様、M24期の山口幸治様より心温まる寄付を頂きました。誠にありがとうございました。

寄付金の額は設定しておらず、少額でも受け付けております。ご賛同いただける場合は、お手数ですが最寄りの銀行よりお振込をお願いいたします。氏名欄にお名前、学科、卒期(M, E, C, B, MI, AC, BC ○期)をお書きください。郵便局の窓口からお振込の場合は通信欄にご記入ください。また、寄付金の用途をご希望の場合は、お振込いただいた後にメールや電話で、「学生支援」、「学校支援」、「同窓会活動支援」などをお知らせください。ご希望のご連絡がない場合は、同窓会事務局で検討し、学生支援をはじめとする幅広い同窓会活動に活用させていただきます。また、次回のAfter5で寄付していただいた方のお名前のみを掲載させていただきます。

肥後銀行 八代支店(253)
普通 1808278
熊本高専八代キャンパス同窓会「楷友会」
出納担当 河津秀利

大同窓会連動企画「ミニミニ同窓会」申込受付中!

2023年度および2024年度、5名以上の同窓生が集まる会に、1名あたり2,000円を援助します。この機会に同窓生の親睦を深め、2025年正月の大同窓会を盛り上げましょう! 詳細は楷友会Webサイトをご覧ください。

同窓会名簿発行のお知らせ

来年度は、4年に一度の名簿発行の年です。これからハガキ・電話による現状調査が行われます。同窓会会員名簿は、同窓会・学校・会員間交流のために発行しておりますので、ご理解ご協力の程、なにとぞよろしくお願い申し上げます。なお、今回より、会員向け名簿への電話番号の掲載は行いませんのでご承知おきください。ただし事務局での連絡先把握のため、電話番号の調査自体は実施いたします。(名簿業務委託先: 小野高速印刷株式会社)

年会費について

年会費(2,000円)の徴収についてご理解とご協力をお願い

同窓会の運営は会員の皆様からの会費で賄われております。年会費の徴収にご理解とご協力をお願い申し上げます。年会費の納入方法には次の3種類があります。

①口座自動引落し

ゆうちょ口座や銀行口座より、毎年12月中に自動的に引落します。

振込の手間が省けるだけでなく、特典として年会費が1,800円に、また会員名簿が割引価格になります。

口座自動引落しを希望される方は、事務局に電話かメールにて「年会費を自動引落しにする」とご連絡下さい。手続きに必要な書類を送付します。

②郵便局・コンビニ振込

同封の振込用紙にて、全国の郵便局およびコンビニエンスストアで振り込めます。

③各種 Pay アプリ

LINE Pay 請求書支払い、PayPay、au PAY をご利用いただけます。各種 Pay アプリのコードリーダーで振込用紙のバーコードを読み込み、お支払いください。

【連絡事項】

- 1) 会報誌に年会費の振込用紙が同封されていない方は、3月卒業生ですでに納入済みか、今年12月に引き落とし予定の口座自動引落しの方です。
- 2) 口座自動引落しの手続きをされている方で、転勤などにより登録された銀行が変更になり、お引き落としができない方がいらっしゃいます。ご連絡いただければ書類をお送りしますので、新しい口座の手続きをお願いいたします。

会報誌のPDF版について

会報誌のPDF版を同窓会web上で閲覧できます。

<https://after5.y.kumamoto-nct.ac.jp>
ID : yncafter5 PW : S4ppNh



楷友会 Web

住所変更手続きのお願い

引越等で住所を変更された方は、忘れずに同窓会事務局へのご連絡をお願いいたします。

変更は、電子メール after5@kumamoto-nct.ac.jp にて受け付けております。卒期または卒業年・学科・お名前・現住所をご記載ください。なお、受付の際に本人確認を行いますので、ご了承ください。

編集

Editor's Note

後記

例年、本誌の新幹事紹介の写真は卒業式の壮行会時に撮影しています。忙しくてSDカードに入れたままにしており、しかも学校行事の写真用SDカードが10枚ほど。会報作成に際し大捜索をしました。無事見つけ出すことはできたのですが、捜索中にここ十数年分の学校行事の懐かしい写真を見ることができ、元気をもらいました。(吉永)